

問 ワクチンの製品を変えて2回接種する「交差接種」の検討状況について

問 国内での3回目接種について、早ければ医療従事者に10月～11月、高齢者は来年1～2月に打ち始めることになることに関する検討状況について

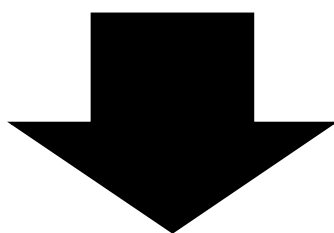
問 3回目接種のバックアップとして米ノババックス社製を使用する可能性について

(答)

○ 1回目と2回目とで異なる新型コロナワクチンを接種することについては、現在、一部の免疫効果や安全性のデータ等が学術誌に公表されるなど、諸外国において、様々な研究が進められている状況と承知しています。

現時点では1回目と2回目とで異なるワクチンを接種した場合の有効性・安全性等に関するデータは十分に得られていませんが、引き続き情報収集をして、よく検討する必要があると考えています。

○ 3回目の接種については、接種の開始時期など、様々な報道がなされているものと承知していますが、現時点で何ら決まった方針等はありません。



- 3回目接種について、諸外国において様々な方針や見解が示されていますが、我が国においても、その必要性や実施時期等について、科学的知見を基に、今後、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会での議論を経た上で、適切に判断してまいります。

- まずは、10月から11月のできるだけ早い時期に、希望する全ての方への2回のワクチン接種を完了できるよう、全力を挙げて取り組んでまいります。

(※) ノババックス社（米国）のワクチンについては、来年（2022年）初頭から1億5,000万回分のワクチンの供給を受けることを前提に協議中であるが、当該ワクチンについては、武田薬品工業株式会社により国内で生産及び流通される。